



2019年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2018年11月13日

上場会社名 兼房株式会社

上場取引所 東名

コード番号 5984 URL <http://www.kanefusa.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 渡邊 将人

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 (氏名) 鈴木 仁

TEL 0587-95-2821

四半期報告書提出予定日 2018年11月14日

配当支払開始予定日

2018年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第2四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第2四半期	10,126	8.0	1,138	37.0	1,201	40.7	849	40.9
2018年3月期第2四半期	9,375	8.9	831	88.0	853	313.5	602	848.9

(注)包括利益 2019年3月期第2四半期 528百万円 (5.0%) 2018年3月期第2四半期 503百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第2四半期	61.10	—
2018年3月期第2四半期	43.37	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期第2四半期	28,742	23,316	81.1	1,677.38
2018年3月期	27,790	22,996	82.8	1,654.39

(参考)自己資本 2019年3月期第2四半期 23,316百万円 2018年3月期 22,996百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	7.50	—	15.00	22.50
2019年3月期	—	7.50	—	—	—
2019年3月期(予想)	—	—	—	22.00	29.50

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,800	1.3	2,010	15.4	2,000	25.6	1,370	31.0	98.56

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 1 社 (社名) カネフサベトナム マニュファクチャリングCO., LTD.、除外 — 社 (社名)

(注)詳細は、添付資料P.9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2019年3月期2Q	14,310,000 株	2018年3月期	14,310,000 株
2019年3月期2Q	409,691 株	2018年3月期	409,691 株
2019年3月期2Q	13,900,309 株	2018年3月期2Q	13,900,461 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法について)

当社は、2018年12月5日(水)に機関投資家及びアナリスト向け説明会を開催する予定です。
当日使用する四半期決算説明資料は、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

(日付の表示方法の変更)

「2019年3月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報)	10
3. 補足情報	12
(1) 販売の状況 (製品別売上高、国内・海外別売上高)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、欧州や中国などに鈍化傾向が見られますが、米国経済は減税などの財政政策により好調さを維持しており、新興国についても、米国の利上げにより一部の国で通貨下落など金融市場での動揺が見られたものの、アジアを中心に全体としては拡大基調が続きました。わが国経済も、自然災害による下押し要因は懸念されるものの、企業収益と家計所得の改善が設備投資や個人消費といった内需の好循環に結びつき、総じて緩やかな景気拡大基調が維持されています。

しかしながら、米国の保護主義的な通商政策はエスカレートし、中国との貿易摩擦のみならず、日欧への自動車関連の追加関税など先進国との間でも通商問題が激化する懸念があり、世界経済の先行き不透明感を深めている状況です。

このような状況の下、当社グループは、海外生産の増強、グローバル市場での販売拡大、国内住宅関連市場の占有率拡大や非住宅関連市場の開拓などを目指し、戦略的な製品開発、生産、営業活動を展開いたしました。国内における売上は、住宅関連刃物、非住宅関連刃物ともに前年同期から増加となりました。一方、海外での売上も全地域で増収となり、当第2四半期連結累計期間の売上高は101億2千6百万円（前年同期比8.0%増）となりました。

利益面につきましては、生産性向上など売上原価率が改善したことなどから、営業利益は11億3千8百万円（前年同期比37.0%増）となり、営業外収益で為替差益6千4百万円を計上したことなどから、経常利益は12億1百万円（前年同期比40.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は8億4千9百万円（前年同期比40.9%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 日本

国内向け、海外向けともに自動車関連刃物などが増加したことから、売上高は82億2千万円（前年同期比8.6%増）となり、生産性向上など売上原価が改善したことなどにより、営業利益は6億6千6百万円（前年同期比78.0%増）となりました。

② インドネシア

製紙関連刃物及び自動車関連刃物などが増加したことから、売上高は14億5千6百万円（前年同期比14.6%増）、営業利益は1億3千5百万円（前年同期比30.7%増）となりました。

③ 米国

鋼管関連刃物及び自動車関連刃物などが増加し、売上高は8億1千8百万円（前年同期比10.0%増）となりましたが、営業利益は5千3百万円（前年同期比11.7%減）となりました。

④ 欧州

自動車関連刃物及び木工関連刃物などが増加し、売上高は12億1千万円（前年同期比16.9%増）、営業利益は1億2千4百万円（前年同期比4.2%増）となりました。

⑤ 中国

自動車関連刃物及び木工関連刃物などが増加し、売上高は11億5千9百万円（前年同期比10.0%増）となりましたが、営業利益は8千3百万円（前年同期比23.5%減）となりました。

なお、セグメント別の売上高は、セグメント間の内部売上高を含めて記載しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期末における総資産は、前連結会計年度末（以下「前期末」という。）に比べて9億5千1百万円増加して287億4千2百万円となりました。流動資産は原材料及び貯蔵品などが増加し、前期末比1億1千万円増加の149億8千8百万円となりました。固定資産は無形固定資産などが増加し、前期末比8億4千1百万円増加の137億5千3百万円となりました。

(負債)

負債は、その他の流動負債が増加したことなどにより、前期末比6億3千2百万円増加の54億2千5百万円となりました。

(純資産)

純資産は、利益剰余金が増加し、その他の包括利益累計額が前期末比3億2千1百万円減少したことにより、前期末比3億1千9百万円増加の233億1千6百万円となりました。また、自己資本比率は前期末の82.8%から81.1%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における連結ベースの現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ1億2千3百万円増加し、当第2四半期末には50億1千5百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は14億7千7百万円(前年同期比11.8%減)となりました。収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益11億9千8百万円、減価償却費7億2千2百万円であります。支出の主な内訳は、たな卸資産の増加4億1千7百万円、法人税等の支払額4億2千6百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は10億9千9百万円(前年同期比84.1%増)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出で6億4千7百万円、無形固定資産の取得による支出で4億5千万円の支出があったことなどによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は2億9百万円(前年同期比19.9%増)となりました。これは、配当金の支払額が2億8百万円あったことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2018年11月8日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

連結売上高198億円、営業利益20億1千万円、経常利益20億円、親会社株主に帰属する当期純利益13億7千万円を見込んでおります。

なお、通期の業績予想の前提となる為替レートは、1米ドル=110円、1ユーロ=125円を想定しています。

上記の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、実際の業績等は様々な要因により予想値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,898,614	5,021,885
受取手形及び売掛金	4,697,882	4,622,276
電子記録債権	572,248	584,758
商品及び製品	1,673,221	1,696,810
仕掛品	944,553	1,006,011
原材料及び貯蔵品	1,498,122	1,752,960
その他	606,263	317,906
貸倒引当金	△12,300	△13,792
流動資産合計	14,878,605	14,988,816
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,011,651	4,148,863
機械装置及び運搬具(純額)	4,611,598	4,636,819
その他(純額)	2,593,934	2,804,218
有形固定資産合計	11,217,183	11,589,902
無形固定資産	461,285	881,851
投資その他の資産	1,233,031	1,281,478
固定資産合計	12,911,500	13,753,232
資産合計	27,790,105	28,742,048

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,144,264	2,136,827
未払法人税等	354,227	294,821
賞与引当金	390,913	423,104
その他	1,212,819	1,888,495
流動負債合計	4,102,225	4,743,249
固定負債		
退職給付に係る負債	340,151	327,419
その他	351,210	355,268
固定負債合計	691,361	682,687
負債合計	4,793,586	5,425,936
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,142,500	2,142,500
資本剰余金	2,167,890	2,167,890
利益剰余金	17,797,680	18,438,420
自己株式	△208,742	△208,742
株主資本合計	21,899,327	22,540,068
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	486,702	525,137
為替換算調整勘定	669,185	306,027
退職給付に係る調整累計額	△58,696	△55,121
その他の包括利益累計額合計	1,097,191	776,043
純資産合計	22,996,519	23,316,111
負債純資産合計	27,790,105	28,742,048

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
売上高	9,375,180	10,126,361
売上原価	6,233,841	6,611,609
売上総利益	3,141,338	3,514,751
販売費及び一般管理費	2,310,104	2,376,109
営業利益	831,234	1,138,642
営業外収益		
受取利息	3,150	4,975
受取配当金	11,805	11,542
為替差益	19,696	64,713
その他	16,039	13,978
営業外収益合計	50,691	95,209
営業外費用		
売上割引	22,527	24,271
デリバティブ評価損	3,372	6,127
その他	2,101	1,892
営業外費用合計	28,001	32,291
経常利益	853,924	1,201,560
特別利益		
固定資産売却益	436	2,811
特別利益合計	436	2,811
特別損失		
固定資産売却損	447	2,125
固定資産除却損	1,505	3,427
特別損失合計	1,952	5,552
税金等調整前四半期純利益	852,408	1,198,819
法人税等	249,565	349,574
四半期純利益	602,842	849,244
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	602,842	849,244

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
四半期純利益	602,842	849,244
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	98,319	38,435
為替換算調整勘定	△225,317	△363,158
退職給付に係る調整額	27,196	3,575
その他の包括利益合計	△99,801	△321,147
四半期包括利益	503,040	528,097
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	503,040	528,097
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	852,408	1,198,819
減価償却費	756,801	722,124
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△152	34,015
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△4,363	1,729
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	36,167	△3,069
受取利息及び受取配当金	△14,955	△16,517
為替差損益 (△は益)	△36,434	△97,125
固定資産売却損益 (△は益)	10	△686
売上債権の増減額 (△は増加)	△129,595	4,988
たな卸資産の増減額 (△は増加)	28,369	△417,608
仕入債務の増減額 (△は減少)	298,477	△3,665
未払又は未収消費税等の増減額	△104,557	△30,073
その他	124,251	495,006
小計	1,806,426	1,887,937
利息及び配当金の受取額	14,945	16,517
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△145,519	△426,972
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,675,852	1,477,482
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△552,238	△647,693
有形固定資産の売却による収入	1,352	9,188
有形固定資産の除却による支出	△71	△594
無形固定資産の取得による支出	△32,700	△450,576
投資有価証券の取得による支出	△5,583	△6,394
貸付けによる支出	△9,225	△3,159
貸付金の回収による収入	1,141	100
その他	146	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△597,180	△1,099,129
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△607	△607
配当金の支払額	△173,755	△208,504
財務活動によるキャッシュ・フロー	△174,362	△209,111
現金及び現金同等物に係る換算差額	△30,719	△45,689
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	873,590	123,551
現金及び現金同等物の期首残高	3,556,319	4,892,014
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,429,909	5,015,565

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

連結の範囲の重要な変更

当第2四半期連結会計期間より、カネフサベトナム マニュファクチャリングCO., LTD. を新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自2017年4月1日至2017年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					
	日本	インドネシア	米国	欧州	中国	計
売上高						
外部顧客への売上高	5,747,869	991,250	744,226	1,035,831	589,236	9,108,413
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,819,694	279,155	—	—	464,787	2,563,637
計	7,567,564	1,270,406	744,226	1,035,831	1,054,023	11,672,051
セグメント利益	374,649	103,381	60,820	119,675	108,778	767,305

	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高				
外部顧客への売上高	266,766	9,375,180	—	9,375,180
セグメント間の内部売上高又は振替高	90	2,563,727	△2,563,727	—
計	266,856	11,938,908	△2,563,727	9,375,180
セグメント利益	29,114	796,419	34,814	831,234

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、インド及びブラジルの現地法人の事業活動等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額34,814千円には、セグメント間取引消去67,691千円、棚卸資産の調整額△31,849千円、その他△1,026千円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					
	日本	インドネシア	米国	欧州	中国	計
売上高						
外部顧客への売上高	6,005,677	1,096,639	818,222	1,210,744	585,447	9,716,732
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,214,664	359,551	747	—	573,705	3,148,668
計	8,220,342	1,456,191	818,970	1,210,744	1,159,152	12,865,401
セグメント利益	666,804	135,170	53,713	124,757	83,180	1,063,626

	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高				
外部顧客への売上高	409,628	10,126,361	—	10,126,361
セグメント間の内部売上高又は振替高	90	3,148,758	△3,148,758	—
計	409,718	13,275,120	△3,148,758	10,126,361
セグメント利益	39,270	1,102,896	35,746	1,138,642

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、インド、ブラジル、メキシコ及びベトナムの現地法人の事業活動等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額35,746千円には、セグメント間取引消去41,459千円、棚卸資産の調整額△1,753千円、その他△3,959千円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 補足情報

(1) 販売の状況

① 製品別売上高

(単位：百万円、%)

	前第2四半期実績		当第2四半期実績		前年同期比 (%)	2019年3月期計画	
	金額	構成比	金額	構成比		金額	構成比
平 刃 類	2,936	31.3	3,077	30.4	4.8	6,030	30.5
精 密 刃 具 類	1,989	21.2	2,111	20.9	6.1	4,180	21.1
丸 鋸 類	4,320	46.1	4,803	47.4	11.2	9,350	47.2
商 品	128	1.4	133	1.3	3.9	240	1.2
合 計	9,375	100.0	10,126	100.0	8.0	19,800	100.0

② 国内・海外別売上高

(単位：百万円、%)

	前第2四半期実績		当第2四半期実績		前年同期比 (%)	2019年3月期計画	
	金額	構成比	金額	構成比		金額	構成比
国 内	5,051	53.9	5,270	52.1	4.4	10,530	53.2
海 外	4,324	46.1	4,855	47.9	12.3	9,270	46.8
ア ジ ア	2,084	22.2	2,329	23.0	11.7	4,480	22.6
ア メ リ カ	1,007	10.8	1,149	11.4	14.1	2,260	11.4
ヨ ー ロ ッ パ	1,137	12.1	1,299	12.8	14.3	2,380	12.0
そ の 他	94	1.0	77	0.7	△18.1	150	0.8
合 計	9,375	100.0	10,126	100.0	8.0	19,800	100.0